

第4学年 外国語活動学習指導案

場 所 4年1組教室

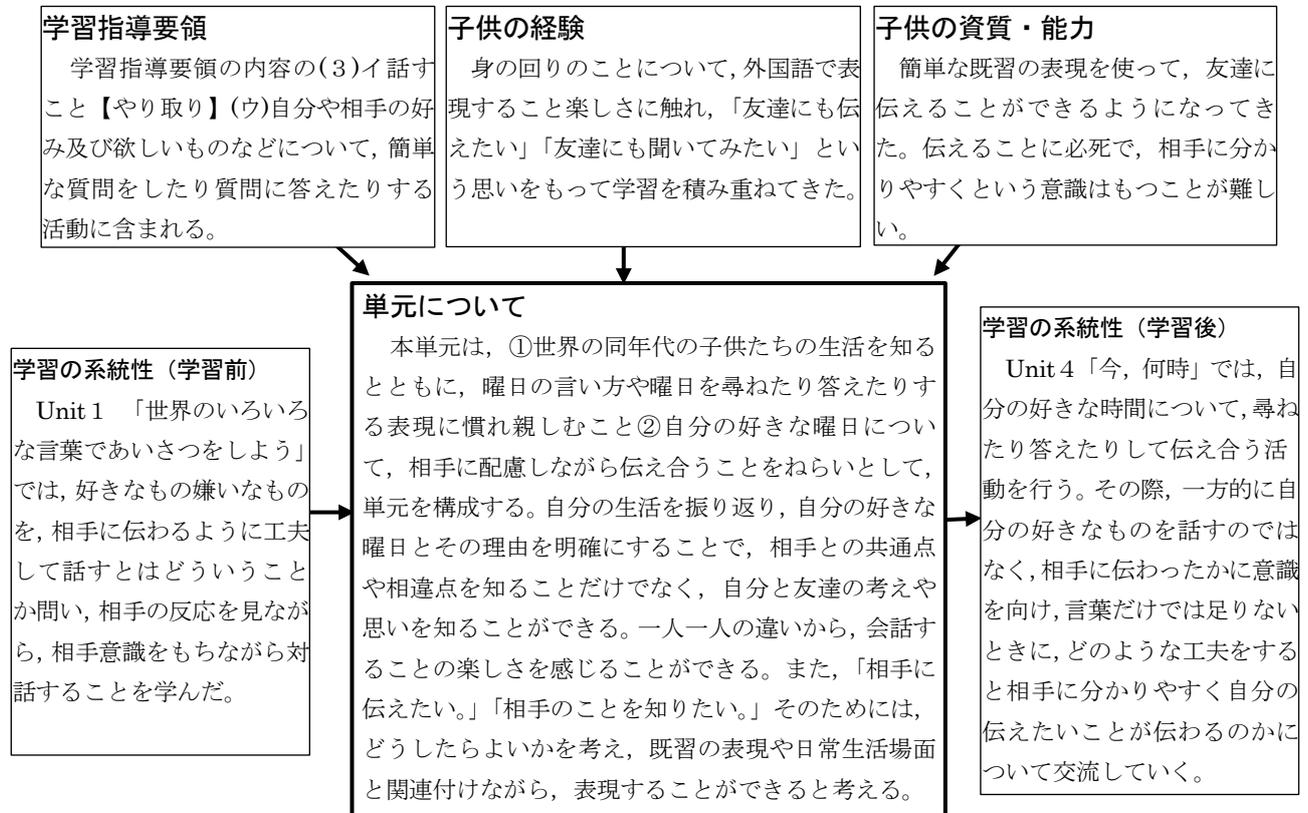
児 童 男18名 女16名 計34名

指 導 者 重 香

1 単元名

Unit 3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな？

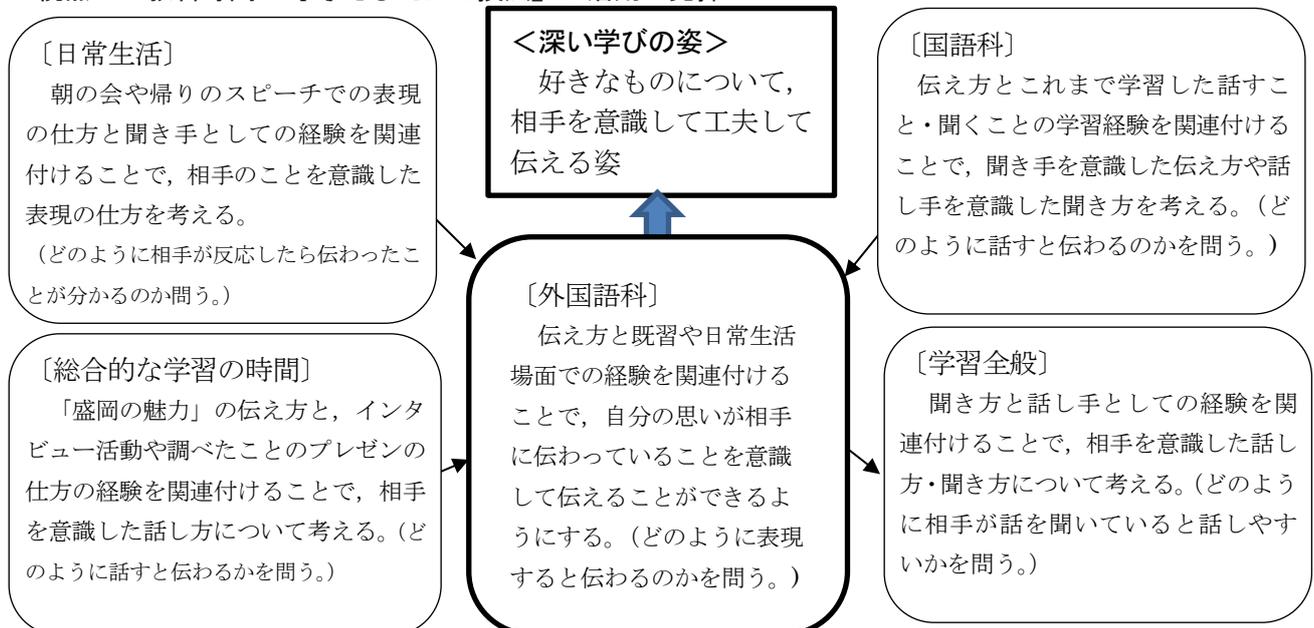
2 単元の指導構想



3 指導にあたって

そこで、自分の気持ちや考えを伝え合う子供を育むために、以下のような手立てをとる。

視点1 教科等間の『考えるための技法』の活用・発揮



視点2 深い学びの実現に向かう単元構成

- ・ 自分と世界の子供たち、自分と友達との生活の共通点について、「知りたい」「聞きたい」「比べたい」という思いをもてるように、映像を視聴する前に想像する場面を設けたり、自分の生活を振り返る場面を設けたりするなど、教材の提示を工夫する。
- ・ 自分の好きなものを友達に伝えることができるようにするために、必要な語彙や簡単な表現を目的や場面に合わせて繰り返し聞いたり、真似をしたりする場を設定する。
- ・ 自分の好きな曜日について、「相手にどのように話したら自分のことがよく伝わるか」を考えられるように、友達とのやり取りを通して考える場面を設定する。

視点3 単位時間の考える活動の充実

- ・ 単元のゴールに向かって相手と伝え合おうとする意欲をもって活動を継続し、相手のことを知りたいという思いをもって課題設定ができるように、身近な人についてのクイズを出したり、クラスの友達の好きな曜日ランキングなどを提示したりする。
- ・ 自分の伝えたいことを伝えることができるように、「自分の伝えたいこと」「伝えるときに困っていること」を考える場面を位置付ける。
- ・ 自分のことが相手に伝わった喜びを味わい、その後のコミュニケーションにつなげようという思いを高めるため、相手を意識したやり取りの方法を分かりやすく発表している子供の姿を価値付ける。

4 単元の指導計画

(1) 目標

- ・ 世界の同年代の子供たちの生活を知り、曜日の言い方や尋ね方を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【知識及び技能】
- ・ 自分の好きな曜日について、伝えたいことを明らかにして、相手に分かるようにやり取りする。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・ 相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の好きな曜日について、簡単な表現を知り、その表現に慣れ親しんでいる。	自分のことを伝えるために、慣れ親しんだ表現を用いながら、相手に伝わるように、伝え方（声の大きさ、アイコンタクト、ジェスチャー）などを、工夫してやり取りしている。	友達と進んで関わり、相手に配慮しながら、質問したり答えたりしている。

(3) 指導計画 (3時間)

段階	主な学習活動	指導の手立て	考えるための技法	評価規準 (評価方法)
問題の把握 第一次	1 世界の同世代の子供たちと自分たちの生活の共通点に気付き、曜日の言い方に慣れ親しむ。 (1) クラスの友達の好きな曜日に興味を持ち、好きな曜日を尋ねる表現に触れ、課題をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールと見通しをもつことができるように、教師が演示をし、友達のどんなことを知りたいかを問う。 	関連付ける	
	クラスの友達の好きなことをもっと知ろう。(曜日編)	<ul style="list-style-type: none"> 世界の同世代の子供たちの生活と自分たちの生活を比べて理解できるように、自分の放課後のくらし方や週末の過ごし方を振り返る場を設定する。 英語での曜日の言い方が何曜日を表すのか理解できるように、カレンダーなどを提示する。 	比較する	<ul style="list-style-type: none"> 自分と世界の子供の生活の違いを知ることができる。 【知→発言, 振り返りシート】 ゆっくりはっきりと話された際に単語や簡単な表現を聞いて真似ている。 【知→観察】
問題の追究 第二次	2 曜日の言い方や、何曜日が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (1) 映像を視聴し、登場人物の1週間の予定を聞き、曜日クイズに答える。 (2) 自分の1週間の予定について、友達と曜日クイズを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 何曜日が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができるように、チャンツやゲームを通して繰り返し表現に触れる場を設定する。 	関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> 必要な語彙や簡単な表現を目的や場面に合わせて繰り返し聞いたり、真似をしたりしている。 【知→観察】
まとめ 第三次	3 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きな曜日について話したり相手に尋ねたりする。 (本時) (1) 映像を視聴し、好きな曜日や遊びについてのやり取りの仕方を知る。 (2) 自分の好きな曜日について、友達とやり取りする。	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わるための工夫に気付き、自分の活動に取り入れることができるように、既習や日常生活場面と関連付けながら相手に伝えるための表現の工夫を問う。 相手に伝えることができるようにするために、視点を与えて振り返りを促し、できるようになったことを価値付ける。 	関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことを伝えるために、慣れ親しんだ表現を用いながら、相手に伝わるように、伝え方を工夫してやり取りしている。 【思→観察, ワークシート】 友達と進んで関わり、相手に配慮しながら、質問したり答えたりしている。【態→観察】

5 本時の指導計画

(1) 目標

自分の好きな曜日について、相手に伝わるように工夫してやり取りする。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
自分の好きな曜日について、「相手にどのようにしたら自分のことがよく伝わるか」を考えて、伝えている。 〔思考・判断・表現〕	困っていることを明らかにして、分からないことは伝え、自信がないときは真似ができるように、教師と声を出して、友達とやり取りすることを促す。

(3) 展開

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援（◇評価）	資料等
導入 (7分)	1 【Greeting】 2 【small talk】 【Chants】 前時までの表現を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことを伝える抵抗感を減らして学習に臨めるように、明るく楽しい雰囲気であいさすをする。 前時までの基本の表現を確認するために、スモールトークやチャンツをする。 	デジタル教材
展開 (30分)	3 【Today's Goal】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">友達と好きな曜日を尋ね合おう。</div> 4 【Let's Watch and Think2】 (1) 誌面のイラストを見て、登場人物がどのような会話をしているかを考える。 (2) 映像を視聴し、登場人物の好きな曜日やすることについて分かったことを書く。 5 【Activity】 (1) ペアで好きな曜日を聞き合う。 (2) 相手を変えながら、ペアでやり取りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 目的をもって学習できるように、前時までに学習したことを確認し、「単元のゴールに向かって本時ではどのようなことを学んでいきたいのか」を問い、子供の思いもとに課題を設定する。 曜日やすることについて気を付けて聞くことができるように、登場人物を確認し、会話の内容を想像するよう促してから、映像を提示する。 自分の好きな曜日やすることについての表現が分かるように、映像の視聴の内容を整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 手立て① 相手に分かるように伝える方法に気付くことができるようにするために、次のような手立てをとる。 <ul style="list-style-type: none"> 「相手につたわっているか」と問う。 うまく伝え合っているペアを取り上げる。 (声の大小、アイコンタクト、ジェスチャーなどの演示をする。) 「伝わったとき、伝わらないときには、どんな反応をしたらよいか」問う。 (OK, うなずき, Good, もう一度, 問い返すなどの演示をする。) </div> <ul style="list-style-type: none"> 相手を意識したやりとりの方法が自覚できるように、分かりやすく発表している子供の姿を価値付ける。 <p>◇ 自分の好きな曜日について、相手に伝わるように工夫してやりとりしている。 【思→観察】</p>	デジタル教材 テキスト
まとめ (8分)	6 【Reflection】 ・ 本時の振り返りをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 手立て② 相手に伝えることができたことや工夫に気付くことができるようにするために、①挑戦したことやできるようになったこと②次に挑戦してみたいことについて振り返りを促し、できるようになったことを価値付ける。 </div>	ワークシート

